

本時のねらい

・友だちの作品のすてきなところを見つけよう。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・完成した作品を写真撮影することで、自身の作品を客観視する。
・タブレット端末を使って、友だちと作品を鑑賞することで、短い時間でたくさんの作品に触れることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型提示装置 ・ミライシード

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	・めあての確認 「みんながつくったごちそうのすてきなところをさがそう」	・タブレットを使って鑑賞する見通しを持たせる。 (写真を撮る、トリミングをする、ミライシードで提出する、友だちの作品を鑑賞する、ふり返りを書く)
展開 (30分)	・オクリンクのペイントを使用して、鑑賞するためのカードを作る。(題名カード) ・前時に作成した作品の写真を撮り、トリミングする。(作品の写真カード用) ・題名カード、作品の写真カードの順に並べ、オクリンクで送る。 ・友だちの作品を鑑賞し、作品カードを書く。 【写真1】【写真2】	・ミライシード(オクリンク)の操作方法を説明する。 ・作品の写真を必要な部分だけ、トリミングする。 ・カードを作る際に、「題名」「作品」の順に提出させる。それによって、友だちのカードを見る際に、作品を見やすくする。
まとめ (10分)	・鑑賞した感想を発表する。 【写真3】	

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 作品が見やすいようにトリミングする



【写真2】 作品カードを作る



【写真3】 鑑賞した感想を発表する

児童生徒の反応や変容

近くで友だちの作品を一覧で見ることができるので、関心を持った作品を選び、細かい部分にも注目しようとしている児童が多かった。タブレット操作がおぼつかなかった児童が、活動に取り入れるたびに、タブレット操作がスムーズになり、作業時間が短くなったり、教えあったりする姿勢がみられるようになった。タブレット端末を活用することで学習活動はもちろんのこと、学習への関心が高まり、自然発生的に学び合う活動が起こっていくことが分かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

カードを作る写真を撮ってトリミングをする等、繰り返し活用することで操作がスムーズになると分かった。1年生の夏休み前では、発達段階上、タブレット操作は難しいと考えていたが、児童は撮影、トリミングなどの基本操作や、オクリンクでの情報共有のスキルをきちんと吸収し、次の活動に生かしていることが分かった。図工のみにとどまらず、これまでの学習活動にタブレット活用を組み込むことで、より意欲的に取り組むことが分かったので、低学年でも積極的にタブレットを活用した授業を進めていきたい。

今回は意図的に、作品カードをデジタルに、鑑賞カードをアナログにと分けて行った。単元を通して、どんな学びのスキルを身につけたいかを選び、デジタルとアナログのどちらの良さも適切に組み合わせ生かしていくことが大切だと考える。